

お客様と私たちのコミュニケーション誌
エ コ ス
ECO'S通信 VoL.174 November 2007

10/31 ホームページ公開(<http://www.e-skk.co.jp>)

是非、のぞいてみてください。携帯電話からは、サイズが大きいため、見ることはできません。
ご不明な点は、編集部までお問い合わせください。

安全講習会の開催

9月より、安全講習会の開催日を一斉清掃日の午後と決め、定期的を実施するしくみを作りました。新入社員教育の一環とベテラン社員の再教育のために実施するものです。

9月22日、一斉清掃後の安全講習会では、タンクローリーの操作の講習を行いました。10月27日には、移動式クレーンの講習を行いました。

機械の構造を勉強し、正確な知識と操作技術を身につけることは、事故を未然に防ぐことにつながります。自分はわかっていると思っている人も、参加してみると、新しい発見があります。また、免許取得が必要な社員にとっては実地の勉強になります。

11月は、フォークリフトの講習です。今後も継続していきます。

保全事業部部长 河上



河上部長の指導のもと、移動式クレーンの操作技術等を学ぶ社員のみなさん。

危険を伴うので、正確な知識と操作技術が必要です。



繁盛店訪問

玉造グランドホテル長生閣 様

699-0201 島根県松江市玉湯町玉造温泉
TEL 0852-62-0711
FAX 0852-62-0772

創業から200年を超える玉造温泉の老舗宿。ロビーから眺められる、1,000坪もの美しい緑の庭園が、四季の移り変わりを魅せてくれます。

地元の特産物“めのう”を1万枚も敷き詰めた色鮮やかな大浴場がある「神宝殿」は、1棟全てが湯殿。広い空間の中で湯にひたると、開放感が全身を巡り、最高の心地よさを与えてくれます。

食事は、日本海、宍道湖で獲れる海の幸をメインにし、これからの季節は、松葉ガニを堪能することができます。



玉造グランドホテル
長生閣全景

館内の主な催し物を紹介します。

音と光のイルミネーションショー

長生閣自慢の緑に覆われた1,000坪の和風庭園。静寂の夜の闇に包まれる頃、どこからともなく流れてくる心地良い音楽と共に、2万個の鮮やかな光が日本の四季を壮大に映し出します。ファンタジックな世界をご堪能下さい。

香いのバラ湯

女性だけのお楽しみで、平成19年は5月9日から11月28日まで実施予定です。毎週 日曜日・水曜日の限定で、時間は次の通りです。11:00～15:00、16:00～19:00

お風呂上がりの肌にほんのりバラの香り残り、ちょっとぜいたくな気分になります。

これから、忘年会の季節です。どうぞ、皆さんでお越しください。



豪華なバラ湯です。

ボイラー掃除をしました。

長生閣さまは、第二次オイルショックで油が高騰し、再生油に転換されました。最初は、他業者の油を使われていましたが、品質が良くなく、コストがかかったそうです。1時間経つとストレーナーが目詰まりしたこともあったそうです。再生油を使い始めてから、1年後に山陰興業の再生油と出会いました。当初は、夜中に、トラブルがあって、油を総入れ替えしたこともあったそうです。現在は、コスト的に、お役にたっており、削減できたお金は、エアコンの更新や宴会場の補修に使われています。

メンテナンスの手間が少しかかるそうですが、自前のできる技術をもっているのです、短時間で能率良くすることが出来るそうです。



細かい灰がでるので、マスクを装着しています。

今回の掃除では、灰が少なかったようです。



みんなの研究の成果により、使い易い油になったと喜んでいただいています。



掃除が終了し、皆さんで休憩です。左より、木村部長、井川さん、小川さん。

羨道

NO. 13

皆さん、秋の深まりを感じますが、いかがお過ごしですか？

今回の研修アンケートの質問で、**「仕事で至福の時とは？」** に対して、次のような答えが返ってきた。

- ・お客様の笑顔 (松本)
- ・お客様に「ありがとう」と言われた時 (矢田)
- ・感謝された時 (遠藤)
- ・目標を達成した時 (安原・中村)
- ・その時その時の目標を達成した時 (松下)
- ・無事故、無事に業務を終えられた時 (高橋)
- ・いい油がでた時、水分がたくさんとれた時(伊達山)
- ・新しいお客様を増やした時 (大國)
- ・仕事が一段落した時(寺本)
- ・お客様に認めてもらった時(木村)
- ・自分の予定通り事を運んだ時 (木村)
- ・外から帰った社員から「今日の電話対応がよかった」とお客様が言っていた報告 (井上)
- ・エコス通信についての評価を頂く時 (長野)
- ・社員に喜んで仕事をしてもらっている時 (桑本)

ある人がこんな話をしてくれた事がある。
「私たちは、まずは井の中の蛙なんだ。蛙大海を知らなければいけないと思うんだ。」と。

お客様が一番、企業としては大切なことだと思う。それ以上に大切なのは、共に働く社員ではないだろうか。
『お客様の為に何が出来るか？』のその前に、共に働く社員の為に何が出来るか、そんな事を考えたい。

“遠くの人を幸せにするには、近くの人を幸せにする”

この意識があれば一緒に働いている人が輝き、仕事を通しての至福の時が、自然と広がっていくのではないだろうか。

アドレス : nmay427@cocoa.plala.or.jp 新谷

第8回本社一斉清掃の実施

平成19年10月27日

10月5～6日は、境港油槽所の一斉清掃を行いました。多数の社員の参加で、大変きれいになりました。ありがとうございます。これからも維持管理をしていきたいと思っています。

恒例となった本社一斉清掃を行いました。みんなできれいで美しい山陰興業を作ろうではありませんか。(5Sリーダー河上)

- ・のり面がきれいになった。これが当たり前前の状況になるように維持したい。(安原)
- ・のり面のゴミが少なくなったが、茂みの中の空き缶や空き瓶が気になります。この一斉清掃が定着してきてうれしい。(松下)
- ・生垣を徐々に刈り、きれいになりました。三宅君の活躍です。ありがとう。(石原)
- ・一斉清掃はできるだけ参加します。(石橋)
- ・分離槽を月に1回吸い取っています。汚泥が大量にたまることが無くなりました。(木村)
- ・初めて、エンジンヘッドトリマーを使いました。(三宅)
- ・ビールの空き缶がたくさん捨ててありました。(松本)
- ・前回と比べて、ゴミが減りました。(伊達山)
- ・取り組む姿勢が自然に入っていくようです。定着していると感じます。(社長)
- ・きれいになって、周りからみても気持ちいい。掃除している本人も気持ちいい。(河上)
- ・生垣を刈って、道路が広がった。通学路でもあるので、良かったと思う。(木村)
- ・欲が出て、ゴミ拾いの範囲を広げているが、たくさんのゴミが出て悲しい。(長野)



「プロジェクトXリーダーたちの言葉」を読んで

松本

この本を読んで、ものづくりに対する底力の情熱を感じました。私は車が大好きで、家族でよくドライブなど出かけます。そんなことから、マツダロータリーエンジン開発の話が特に印象に残りました。昭和48年に会社の運命と広島復興がかかった新車開発の指揮を執ったのが山本健一さんでした。誰もできない幻のエンジンの実用化、それは、常に壁との戦いでもあり、自分自身との戦いでもある。

私は、山本さんの言葉、「創造的に仕事をしなさい。挑戦的に仕事をしなさい。」そして、ネバー・ギブ・アップ、この言葉がとても胸に響きました。

この本を読み、いろいろな壁が立ち塞がってきたときや、自分に負けそうになったときに、山本さんの言葉を思い出し、どんな困難でも乗り越える勇気をもらいました。



元氣の出る言葉

中村天風師

(「君に成功を贈る」より)

つましやかに感謝の念を持って
生きるようになったら、
どれだけの人生のスケールが
大きくなるかわからない



自分を高める今月の一冊

11月の指定図書

不都合な真実

地球温暖化の危機

アル ゴア著(アメリカ元副大統領)



まずこの事実を知ろう。地球の明日のために、「できることから始めよう！」

地球温暖化、異常気象などが、新聞に載らない日はなく、人類、地球の危機が言われて久しいが、個人のレベルで言えば、私を含めて危機感を持って何か実行している人は、そんなに多くはないと思います。

この本を読んで、何かほっとするものがあり、これなら実行できそう。ここから自分も始められると思いました。

『地球温暖化ほどの大きな問題を考えると、圧倒されそうな気がして、無力感を感じてしまうかもしれない。「自分ひとりぐらいやったって、何にもならないのではないか」と思ってしまうかもしれない。しかしそのような気持ちに負けてはいけません。私たちひとりひとりが責任を負わないかぎり、この危機は解決できない。それには自分ができることから始めよう。』(193ページに掲載)

今私が始めていること二つ。

- ①ペットボトルのお茶、缶コーヒーの容器は、飲んでしまえば、無用のもの。リサイクルに回せば、もう一度エネルギーがかかり、温暖化の元凶。特製葉緑素入りのマイボトルを持ち歩いています。
- ②スーパー、コンビニでレジ袋を断っています。あなたもできることから始めませんか・・・

山根記

原稿を公募します

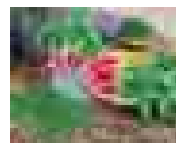
本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、環境をテーマにしたものを希望します。薄謝ですが、原稿料を支払います。締め切りは、今月末です。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。

今月のクイズ

解答を下記の編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今回の賞品は、松江名産《津田かぶ漬け》です。締切は今月末です。ふるってご応募ください。

Q 来年の干支を漢字で答えてください。

先月号の答えは北京でした。抽選の結果、境港市T社さまが当選です。おめでとうございます。



応募用紙 (答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail n-hiroko@trust.ocn.ne.jp

蔵書新着情報

10月に購入した本を紹介します。誰でも貸出可能です。貸出及び返却は井上社員を通してお願いします。

【書籍】

- | | | |
|--------------------------|-------|------------|
| ・蔵人(クロード) 四 | 尾瀬あきら | 小学館 |
| ・花雲水 | 芝田清次 | 講談社 |
| (日本経営合理化協会様より寄贈) | | |
| ・大切にしたい 働くこころ | 永田良一 | 同文館出版 |
| ・ファクター4 豊かさを2倍に、資源消費を半分に | | 省エネルギーセンター |
| ・カソウケンへようこそ | 内田麻理香 | 講談社 |
| ・人生の王道 | 稲盛和夫 | 日経BP社 |
| ・組織を伸ばす人、潰す人 | 柴田励司 | PHP研究所 |

【雑誌】

- | | | |
|------------------|---------|----------|
| ・日経トレンディ | 2007.10 | 日経ホーム出版 |
| ・いきいき | 2007.10 | ユーリーグ(株) |
| ・ナショナルグラフィック10月号 | | |

日経ナショナルグラフィック社

書籍の購入希望がありましたら、井上社員まで。検討の上、購入致します。ジャンルは問いません。

編集後記

今日、化石燃料の使用を減らし、二酸化炭素の排出を抑えることが全世界の最重要課題です。米国ではトウモロコシ、ブラジルではサトウキビを原料に、バイオ燃料生産が始まっています。それによって、全世界の食料価格を押し上げ、森林破壊を助長する恐れが出てきています。

日本でバイオ燃料を生産する場合、国内で作れ、食糧と競合しない作物ということで、稲をバイオ燃料の原料にする研究が始まっているそうです。コメはほぼ100%自給で、食糧との競合がありません。休耕田など使われていない水田がたくさんあります。水田がなくなると、里山が荒れたといわれます。稲作を復活させることによって、地域の環境を守ることができるのです。ただ、主食のコメを燃料にすることに対して、少々抵抗感があるのは、私だけでしょうか。

発行日：毎月10日

発行：690-0025

島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470

FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail :n-hiroko@trust.ocn.ne.jp